

交番・駐在所の活動に関する 世論調査

平成12年3月

財団法人 社会安全研究財団
(地域警察活動調査研究委員会)

ま え が き

交番や駐在所に勤務する警察官は、一定の地域を活動の場として地域に密着した活動を行い日本の良好な治安を支えてきました。近年、都市化や国際化などの社会情勢の変化や個人意識の高まり、住民意識の多様化により、これまで地域社会が伝統的に有してきた治安維持機能が低下し、また、事件・事故の多発や警察への意見・要望の多種多様化等によって交番や駐在所と地域住民とのつながりが薄くなってきたことから、警察は交番や駐在所の機能を強化し、これを地域における「生活安全センター」と位置づけ、地域の実態と住民を知る活動（巡回連絡、住民とのふれあい等）、住民の要望に応える活動（事件・事故の未然防止と的確な対応、パトロール、地域安全情報の提供等）を強化してきました。

このアンケート調査は、全国の交番や駐在所の警察官が行っているこれらの活動が地域住民にどのように周知、評価されているかについて調査し、今後の交番や駐在所の活動をより住民の期待に添ったものにするための基礎資料とすることを目的に実施しました。

このアンケート調査結果が、広く活用され、今後の警察活動にお役にたてば幸いです。

平成 12 年 3 月

地域警察活動調査研究委員会

地域警察活動調査研究委員会名簿

(順不同、敬称略、所属・役職等は平成11年8月現在)

- 委員長 前田 雅英 (東京都立大学 法学部教授)
- 委員 高橋 則夫 (早稲田大学 法学部教授)
- 委員 太田 達也 (慶応大学 法学部助教授)
- 委員 原田 豊 (警察庁 科学警察研究所 防犯少年部犯罪予防研究室長)
- 委員 原田 宗宏 (警察庁 生活安全局地域課長)

事務局 (財) 社会安全研究財団

目 次

まえがき	1
地域警察活動調査研究委員会名簿	2
I 調査の概要	5
II 調査結果の概要	11
1 地域の警察に関する認知度	14
(1) 住居地を受け持っている警察署の認知度について	14
(2) 住居地を受け持っている交番等の認知度について	17
(3) 自宅を受け持っている交番等の警察官の認知度について	20
(4) 交番・駐在所連絡協議会の認知度について	23
(5) パトロールについて	26
2 交番等への訪問	29
(1) 交番等への訪問について	29
(2) 交番等を訪問したときの用件について	34
(3) 交番等を訪問したときの警察官の対応について	37
3 巡回連絡の実施状況	40
(1) 巡回連絡の実施状況について	40
(2) 巡回連絡をどのくらい前に受けたかについて	43
(3) 巡回連絡の対応者について	46
(4) 巡回連絡目的の説明について	49
(5) 巡回連絡時の警察広報紙の配布状況について	52
(6) 巡回連絡時の警察官の印象について	55
(7) 巡回連絡に関する意見について	58
(8) 巡回連絡は良いと思う理由について	61
(9) 巡回連絡は必要ないと思う理由について	64

目 次

4 交番等からの情報提供	67
(1) 交番等からの配布物について	67
(2) 巡回連絡カードの回収について	70
(3) 交番等からの情報提供について	73
(4) 交番等が発行する広報紙の認知度について	76
(5) 広報紙の効果について	79
(6) 広報紙を見た状況について	82
(7) 交番等から提供される情報に関する希望について	91
(8) 交番等から情報提供を受ける方法について	94
5 体感治安	97
(1) 体感治安について	97
(2) 犯罪に対する不安感について	100
(3) 不安と感ずる理由について	103
(4) 強化して欲しい交番等の活動について	106
Ⅲ 単純集計表	113
アンケート調査票	125